

## 編輯室の内外

若葉が薫つて早や初夏の候と爲つた。編輯子も何だか若返つて明るみへでも出たやうな氣がすると言ふのは、本會の爲に永年盡力された丹羽七郎氏が、内務省土木局長として來任され、之からは本會の常務理事として活動されるやうに爲つたからだ。夫れにまだ一つの幸がある、夫れは之も永年本會幹事として活動された松本學氏が社會局長官に來任され、失業者救済と道路と言つた關係で路政は一段の活氣を呈するからだ、いま、政府が執行してゐる國道の直轄工事で府縣道の改良でも、是等路政に諒解ある人々の力に依つて明年度も亦相當考慮計畫さるゝ與がある、ドーが編輯子の所望を裏切らずに新年度豫算の編制に援助して貰ひたい。

## 編輯室の内外

夫れで内務省は、失業救済府縣道改良工事が遅れては新年度豫算の要求に差支を來たすと言ふので、早く申請書を差出せと號令してゐるが、地方廳は呑氣なもので落付いてゐる、何でも青森縣が最先に補助や工事施行の手續を済まして既に工事に着手してゐるだけだそうで、他の府縣は悠々としてゐる、そこで一年間に所定の工事を完成せしむることが出來ず、所定の勞力を消費することが出來なかつた府縣に對しては、夫れがドー言ふ理由に依つたにしても補助を取消して、工事の進捗した府縣へ振向けみることに決定したそうだ、地方廳の連中も本省の心を酌んで考へて貰ひたい。

先月號の發行が遅れるやら卷頭言や本欄を書かなかつてお叱りを蒙つたが、實のところ編輯子は、失業救済道路工事を視察する爲に關西に旅してゐた勢で寔に相濟まな。併し其の視察に依つて各地とも茲四、五年前の道路とは違つて著しく面目を革めた

ことを痛感し、路政々々と年中騒いでゐる努力も零でなかつたことを知つた。本誌卷頭に掲げた揖斐長良大橋の工事を見ても、快哉を叫ばずには居られない、此調子で茲二三年も経てば海外に對し耻しからぬ道路を見るであらうことを喜ぶ。

毎號本誌の爲に筆を採つて頂いてゐる三木榮三君、今回西川榮三と改姓された。

(た)

一本誌定價 五十錢  
一ヶ年分 金六圓

東京市麴町區大手町一丁目内務省内  
發行所 社團 道路改良會  
社人 道

東京府豊多摩郡代々幡町幡ヶ谷三五六  
發行兼 編輯者 小島 效

東京市小石川區諏訪町五六  
印刷所 常磐印刷所  
印刷者 堀江關武